

令和7年度 企業担当者の定着支援スキルアップ研修

西部開催

場所	静岡県浜松総合庁舎 大会議室						
日時	令和7年11月26日(水)		13:00~16:30				
事例紹介企業	エンケイ株式会社						
	業務統括本部 豊岡工場 総務 課長 栗原 史好 氏						
事例内容	エンケイ株式会社は、1950年10月設立。日本で初めてアルミホイールを量産化したパイオニアとして、国内は静岡県西部に12拠点、海外は8カ国16拠点に展開している世界屈指のアルミホイールメーカー。人間尊重、相互信頼、共存共栄を社是とし、One Step Forwardの精神のもと、常に新たな次元への可能性を切り拓いている。早い時期からの海外進出や技能実習生の受け入れにより、多様性に理解があり、この考えは障害者の方々と共存にも、大きな影響。高齢者従業員の退職により法定雇用率の未達となった2021年以降、ハローワークの雇用促進指導、県障害者コーディネーター(当時)の支援を受け、障害者向けの作業の抽出、企業見学会の開催、企業実習の実施等を通じて、5人の障害のある方の採用が継続。採用・定着に当たっては、現場における障害特性の理解と同じ仲間としての受け入れが重要であり、県ジョブコーチの貴重な意見も大切なポイント。引き続き、関係支援機関と連携し、法定雇用率の達成を維持する予定。						
障害者雇用状況	従業員数 817人(うち障害のある人 16人(身体 6人、知的 0、精神 10人))						
セミナー	医療法人社団 木野記念会 福田西病院						
	医師 村上 直人 氏						
講演内容	「精神障害者の雇用で考えておくべきこと」と題して、精神障害の種類とその特性についての紹介と、対応が難しくなる3つのズレについての紹介。2大精神病の統合失調症と躁うつ病についてはかつてよりは患者の状態が改善してきているが、近年増加傾向にあるのは神経発達障害(発達障害)である。原因としては、障害が増えているのではなく、これまで障害として考えられてこなかった軽症例も障害として考えられるようになったため。障害特性ごとに情報のズレの原因となる疾患の特徴を説明。具体的に、環境課題・指示の問題・不調の見逃しのケースごとに、症状と関連しやすい疾患及びその対処法を提示。特別な支援ではなく、「仕組み」が必要であることを強調。						
グループワーク	グループワークのテーマ Aグループ:職場環境づくり(従業員の理解(研修方法等)、支援者の配置、コミュニケーション方法等) Bグループ:仕事の切り出し方(作業例、作業手順や指示の出し方、スキルアップ方法等) C:雇用管理の仕方(面接時確認事項、体調管理、労働条件等配慮、外部支援機関活用等) テーマごとの意見交換 Aグループ:A1~A4、Bグループ:B1~B3、Cグループ:C1 計8グループ						
	参加者	企業	福祉事業所	支援機関	教育機関	行政機関	その他
	40名	1名	1名	0名	0名	1名	43名

事例紹介



セミナー



グループワーク

